公益社団法人東京社会福祉士会　災害福祉委員会 主催研修

2026年度 災害福祉研修

東京が被災したとき 社会福祉士会と社会福祉士はどう動くか



開催目的



近年、全国各地で大規模な自然災害が相次ぎ、被災者への福祉的支援は、発災直後から避難生活、生活再建、復旧・復興に至るまで継続的に求められています。2026年11月には防災庁が発足し、国の災害対応体制の強化が進む中、地域や専門職団体においても、平時からの備えと関係機関との連携が一層重要になっています。本研修では、能登半島地震等の災害支援に携わった日本社会福祉士会の岡本達也副会長を講師に迎え、近年の災害福祉支援の実践と専門職団体の役割を学びます。その上で、首都直下地震等により東京が被災した場合を想定し、東京社会福祉士会と地域の社会福祉士が、DWATや関係機関・団体とどのように連携し、被災者の生活を支えていくのかを考えます。

開催日時　2026年12月5日(土) 10:00～12:00

会場・開催方法　福祉財団ビル 7階 大会議室 ／ オンライン（Zoom）
※会場・オンラインの併用開催

参加対象者　社会福祉士資格を有し、災害支援に関心のある方
（東京社会福祉士会会員、災害支援活動協力員、東京DWAT登録者等を含む）

定員　会場参加：40名 ／ オンライン参加：定員なし
※先着順

参加費　500円（銀行振込）
※振込先は受講決定通知にてご案内します
（振込期限：11月30日）

申込締切　2026年11月24日(火)

単位　本研修は、生涯研修制度独自の研修・実績（社会福祉士会が行う認定社会福祉士制度の認証を受けていない研修）の2時間となります。

研修プログラム

※内容・時間配分は変更となる場合があります。

10:00～10:05	開会・趣旨説明
10:05～11:35（90分）	講演（90分）『東京が被災したとき 社会福祉士会と社会福祉士はどう動くか』 講師：岡本 達也 氏（公益社団法人 日本社会福祉士会 副会長）
11:35～11:45	東京社会福祉士会のBCP・災害福祉の取組み（災害担当理事より報告）
11:45～12:00	全体の質疑応答・まとめ・閉会

申込方法　東京社会福祉士会ホームページ（トピックス → センター発）またはQRコードからお申込みください。

参加費のお支払い・受講案内　受講決定通知は11月16日以降、随時メールにてお送りします。振込まれた費用は理由の如何により返金は出来ませんので、ご注意ください。

オンライン受講にあたっての注意事項
- オンライン参加の方は、各自でインターネット接続環境とZoomを使用できる端末をご用意ください。
- 研修内容の録画・録音は禁止します。

申込みはこちら

主　催：公益社団法人東京社会福祉士会　災害福祉委員会

問い合わせ先：公益社団法人東京社会福祉士会　事務局（担当：渡会・元良）
TEL 03-5944-8466 ／ MAIL watarai@tokyo-csw.org